

我が県土
支え育む
希望郷



美しい 県土づくりNEWS

2020年

12月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第197号
令和2年12月28日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 一般国道340号押角峠工区 開通！
- 4 三陸沿岸道路・宮古盛岡横断道路
県内各地で復興道路が続々と開通！
- 6 一関遊水地事業に伴う地役権補償に関する協定書調
印式開催
- 7 「第11回復興加速化会議」が開催されました！
- 8 第2回 ICT セミナーを開催しました！
- 9 高校生との協働による橋梁点検を実施しました!!
～ 県民との協働による維持管理の推進 ～
- 11 岩手県自転車活用推進計画(素案)のパブリックコメント
を実施しています！
- 12「3.11伝承ロード」パネル展を開催しています！

三陸復興

一般国道340号押角峠工区 開通！

令和2年12月13日（日）、復興支援道路の一般国道340号押角峠工区が開通しました。今回の開通により、道路延長及び所要時間が大幅に短縮され、安全で円滑・確実な通行が確保されるとともに、地域間の交流促進に大きな効果が期待されます。



テープカット・くす玉開被の様子

【復興支援道路】

一般国道340号押角峠工区 開通！

沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター

県が復興支援道路に位置付け整備を進めてきた、『一般国道 340 号押角峠工区』が令和2年 12 月 13 日（日）15 時に開通しました。

当日は 11 時から押角トンネルの岩泉町側坑口付近で開通式典を開催しました。式典に先立ち、地元岩泉町の大川郷土芸能愛護少年団の皆様による「長田剣舞（おさだけんばい）」の披露と、みやこ市民劇にて講演した「拓け、いのちの道を～鞭牛和尚（べんぎゅうおしょう）の挑戦～」の講演動画が上映され、会場を盛り上げました。

式典には、達増 知事、県選出国會議員、県議會議員、山本 宮古市長、中居 岩泉町長、地元の児童など約 50 人が出席しました。

達増 知事による挨拶、山本 宮古市長による地域からのお礼の言葉、県選出国會議員の方々、県議會議長から祝辞、中居 岩泉町長から押角峠工区完成に寄せる期待の声を頂きました。

その後、テープカット及びくす玉開被、開通パレードが行われました。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、規模を縮小して開催しました。



▲挨拶 達増知事



▲祝辞 鈴木衆議院議員



▲地域からのお礼の言葉
山本宮古市長



▲期待の声 中居岩泉町長



▲テープカット及びくす玉開被

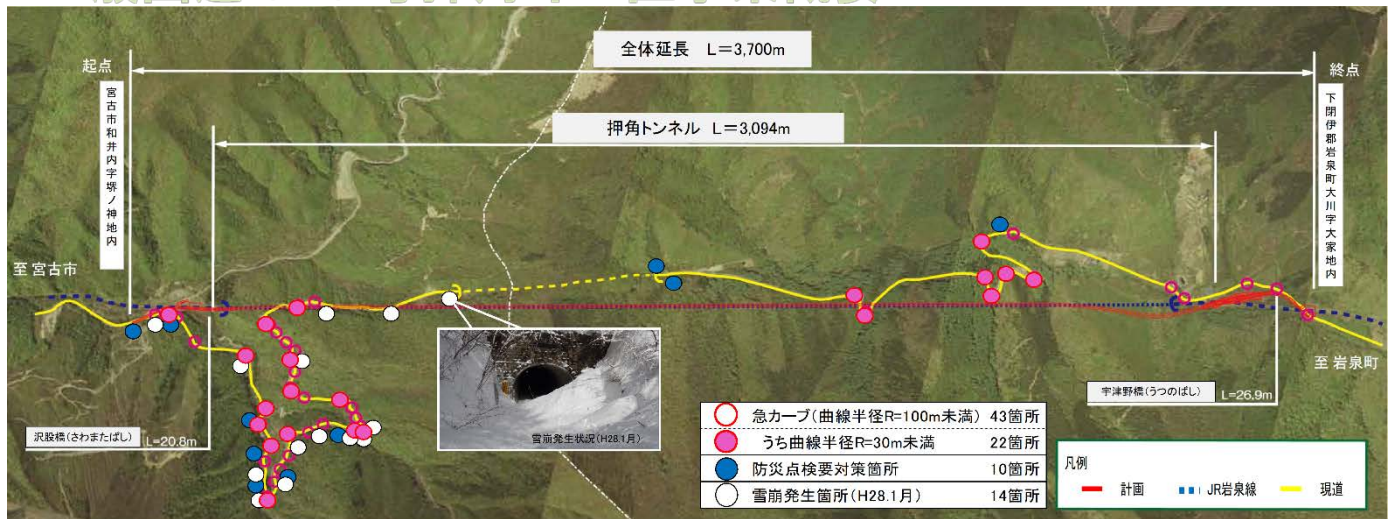


▲オープニングセレモニー：長田剣舞

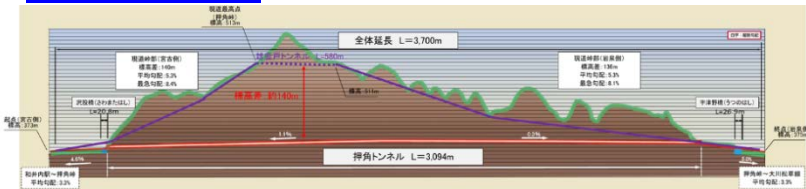


▲開通パレード

一般国道340号押角峠工区事業概要



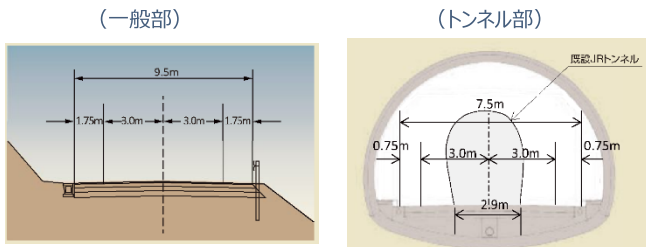
縦断面



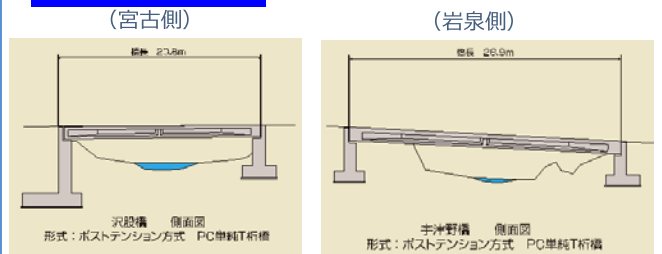
計画概要

計画延長	3,700m	
計画幅員	一般部・橋梁部	6.0(9.5)m
	トンネル部	6.0(7.5)m
道路の区分	第3種第3級	
設計速度	50km/h	
主要構造物	トンネル	3,094m
	沢股橋	20.8m
	宇津野橋	26.9m
事業費	116億円	
事業期間	平成26年度～令和2年度	

標準断面図



橋梁一般図



道路整備による効果

○ 所要時間の大幅な短縮

計画区間の **延長が約 6.1km から約 3.7km へ短縮** されるとともに **所要時間が約 14分短縮 (18.3分→4.4分)** となります。

○ 交通安全の向上

幅員狭小、S字カーブ、急勾配、雪崩危険箇所が解消され **安全で円滑・確実な通行が確保** されます。

○ 地域間交流の促進

当該地域における農業、林業における **物流の効率化** に寄与するとともに、国道 340 号は、北上山地を縦断する唯一の路線であり、当路線を活用した **観光地へのアクセス向上による交流の促進** が期待されます。



E45 三陸沿岸道路・宮古盛岡横断道路

県内各地で復興道路が続々と開通！

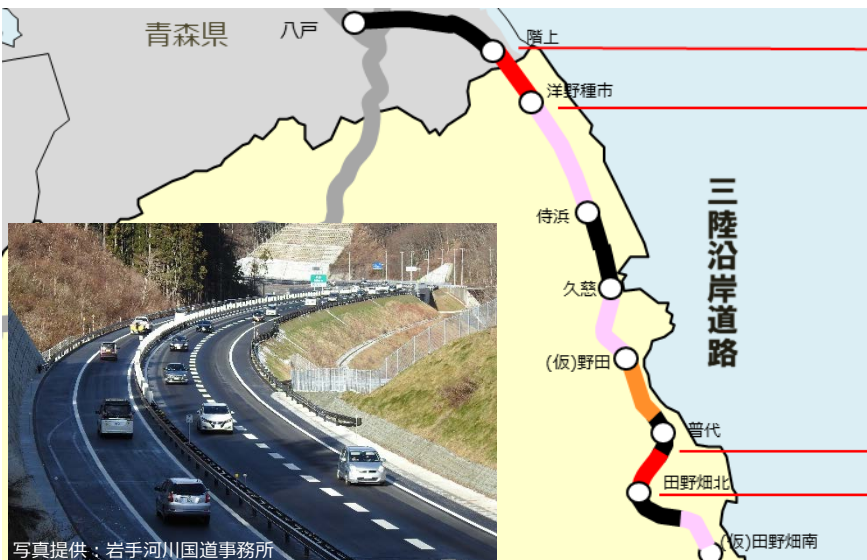
道路建設課

令和2年12月には、復興のリーディングプロジェクトとして国が整備を進めている復興道路が県内各地で続々と開通しました！

5日(土)：宮古盛岡横断道路 区界道路「築川～区界」(延長8km)

12日(土)：三陸沿岸道路 洋野階上道路「洋野種市IC～階上IC」(延長7km※県内4km)

19日(土)：三陸沿岸道路 尾肝要普代道路「田野畑北IC～普代」(延長8km)



R2.12.5 開通 区界道路
築川～区界 延長 8.0km

R2.12.12 開通 洋野階上道路
洋野種市IC～階上IC 延長 7.0km
(県内 4.0km)



R2.12.19 開通 尾肝要普代道路
田野畑北IC～普代 延長 8.0km



(R2.12.19現在)

凡例	
	供用中
	事業中
	調査中
	今回開通区間
	令和2年度末 開通予定
	令和3年内 開通予定

○ **国道106号の最大の難所「区界峠」が解消！**

宮古盛岡横断道路は、12月5日（土）に区界道路「築川～区界」が開通しました。

今回、県内最長の道路トンネルとなる新区界トンネル（延長4,998m）等の開通により、**国道106号の最大の難所である「区界峠」が解消し、沿岸と内陸の所要時間が大幅に短縮**されます。これにより、円滑な物流、救急搬送をはじめとする医療活動の支援、冬期の走行安全性の向上など多くの効果が発揮されます。

また、区界道路の開通を前に、11月26日（木）には、盛岡広域振興局土木部主催による新区界トンネル非常用設備等動作確認会を開催しました。当日は道路管理者、警察、消防などの関係者が参加し、トンネル内の電話から警察と消防に通報できるか、消火栓からの放水、緊急車両が避難路を通過できるのかなど、非常事態発生時に対応できることを確認しました。



▲非常用電話の動作確認

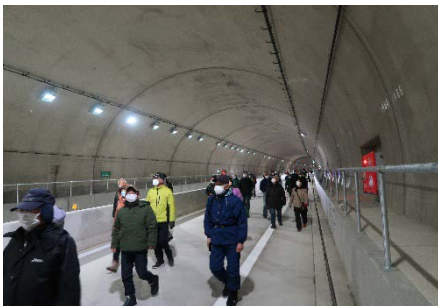


▲消火栓から放水する様子



▲緊急車両が避難路に入る様子

さらに、11月28日には、県主催による開通イベントを開催し、約100名の県民の皆様トンネル内を歩いていただくなど、整備効果等を実感していただきました。参加者からは、「トンネルのおかげで冬期間も安全に通行できる」「宮古と盛岡がより近くなる」など様々な御感想をいただきました。



▲トンネルウォーキングの様子



▲記念写真①



▲記念写真②

○ **三陸沿岸道路は2区間で開通！青森県境が自動車専用道路で結ばれました！**

12月12日（土）には洋野階上道路「洋野種市IC～階上IC」、12月19日（土）には尾肝要普代道路「田野畑北IC～普代」がそれぞれ開通しました。

これにより、本県沿岸北部と青森県八戸市が自動車専用道路で結ばれ、**県境を越えた地域間交流の促進**が図られるとともに、**三陸沿岸地域の豊かな自然の恵みを活かした観光振興や水産業・畜産業等の地域産業の活性化**が期待されます。

宮古盛岡横断道路は今年度末、三陸沿岸道路は令和3年内に全線が開通する予定であり、道路のストック効果が広く全県に波及することが期待されます。

県では、引き続き、国や市町村、関係者の皆様と連携し復興道路の1日も早い全線開通に向け全力で取り組んでいきます。

※ 開通式典等については、開催規模縮小やマスク着用など、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催しました。

一関遊水地事業に伴う地役権補償に関する協定書調印式 開催

河川課

一級河川北上川の治水対策として、国土交通省が一関市、平泉町の流域で進める一関遊水地事業に伴う地役権補償に関する基準について、遊水地内に農地などを所有する地権者2団体と合意が得られたことから、令和2年12月7日（月）に調印式が開催されました。

調印式は、勝部一関市長、青木平泉町長の立会いのもと、一関市北上川治水地権者会の須藤会長、平泉地区地役権協議会の石川会長が東北地方整備局の梅野局長と協定書を取り交わしました。

協定書の調印後、知事よりお祝いの挨拶があり、『本日の調印を契機として、**県としても遊水地事業の早期完成に向け、関係市町とともに取り組んでまいります**』と述べました。

また、地権者団体の代表として、須藤会長は『地権者に説明できるよう地役権の勉強を重ねてきた。**災害から生命と財産を守る活動と理解している**』と、石川会長は『**安全で安心できる生活、洪水のない優良農地としての利用に努める**』と述べました。

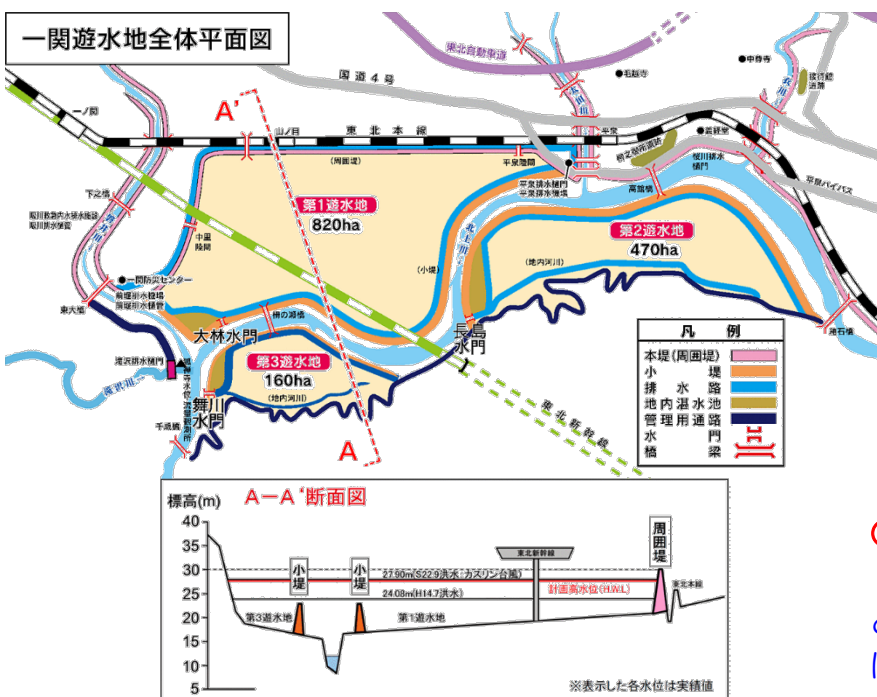
最後に、梅野東北地方整備局長から、『**地権者の皆様方からの特段の御理解をいただき、調印式の場を迎えることができたことに、深い感謝と敬意を表します**』と感謝の意が伝えられました。

今後、地権者と個別の協議を開始し地役権契約を進めていくとともに、残る堤防等の施設整備について、**令和8年度の完成**を目指して進められていくこととなっています。



▲調印後の記念撮影

一関遊水地の事業概要



一関遊水地事業は、昭和47年の事業着手から現在まで、約半世紀の間、胆沢ダムなどの五大ダムの建設事業と併せ、北上川上流における治水対策の根幹をなす一大プロジェクトです。

一関遊水地は周囲堤と小堤からなる二線堤方式を採用しており、中小洪水では小堤が遊水地内への氾濫を防止、大洪水時には周囲堤が市街地への氾濫を防止します。

○地役権とは

遊水地での地役権とは、遊水地となる農地について、大洪水の時に国が湛水させる権利です。

『第11回復興加速化会議』 が開催されました！

建設技術振興課

12月20日、東日本大震災の復興事業の確実な完成に向けて、国土交通省東北地方整備局が主催する「第11回復興加速化会議」が開催されました。

会議では、赤羽国土交通大臣と被災3県の知事が出席のもと、復旧・復興事業の確実な進捗を目的に、東日本大震災津波の復旧・復興事業の施工確保対策、「3.11伝承ロード^{※1}」の活動による防災力向上等について、意見交換が行われました。

本県からは、達増知事が出席し、国が整備を進める復興道路の整備や「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の決定に対する御礼と、東日本大震災津波伝承館の利用状況や、復興道路等の整備に伴う港湾取扱貨物量の増加などの成果を紹介するとともに、被災地の復興を確実なものとするため、復興事業が完了するまでの支援の継続と復興係数^{※2}等の特例措置の継続について要望しました。

赤羽国土交通大臣からは、復興係数を来年も継続し、引き続き復興事業の完遂に向けて取り組んでいくこと、また「3.11伝承ロード」の一層の推進を図ることなどの表明がありました。

引き続き、国や関係団体と連携しながら、復興の総仕上げに向けて取り組んでいきます。

※1「3.11伝承ロード」とは、東日本大震災の教訓を学ぶため、震災伝承施設のネットワークを活用して、防災に関する様々な取り組みや事業を行う活動。

※2復興係数とは、資材等の不足により現場の実支出が増大しており、実態に応じた間接工事費の割増しを行うもの。

【会議の概要】

日 時：令和2年12月20日（日） 13:00～14:00

場 所：仙台合同庁舎B棟 東北地方整備局 12階 大会議室

出席者：赤羽国土交通大臣、達増岩手県知事、村井宮城県知事、内堀福島県知事、郡仙台市長、各県市の部局長（本県からは中平県土整備部長が出席）、関係省庁、関係団体
会議の資料は、下記のホームページを御覧ください。

[国土交通省東北地方整備局](#) > [トップページ](#) > [東日本大震災復興・伝承](#) > [会議・シンポジウム等](#) > [復興加速化会議](#)



郡仙台市長

赤羽国土交通大臣

達増岩手県知事

内堀福島県知事

村井宮城県知事

第2回北いわて建設 ICT セミナーを開催しました！

建設技術振興課

令和2年12月22日、久慈市において、北いわて地域（久慈・二戸・岩泉管内）に本店を置く建設企業を対象に、「第2回北いわて建設 ICT セミナー」を開催し、12企業19名の方にご参加いただきました。

本セミナーは、県内平均と比較して高齢化率が高い北いわて地域の建設業の生産性向上を図るため、ICT 施工に対応した技術者やオペレーターの育成を目的として行うもので、今回の開催で2回目となります。

今回は、県北広域振興局土木部の発注工事である「二級河川久慈川筋大川目町地区ほか河道掘削工事」の現場で、受注者の蒲野建設株式会社はじめ、協力会社である北村技術株式会社、日本キャタピラー合同会社に講師をしていただき、講習を行いました。

同じ県内の建設企業が実際に現場でどのように施工しているのか、肌で感じていただくことができ、参加者から非常に参考になったとの声もいただきました。

また、講師を務めていただいた蒲野建設株式会社から、「ICT 施工は、最初は食わず嫌いという感じであったが、実際にやってみると作業効率の向上を実感し、経験が浅い技術者でも正確に現場を仕上げられることも分かってきた。今後も ICT を積極的に活用していきたい。」と、実際に取り組んだ声を参加者に伝えていただきました。

県では、引き続き建設業における生産性向上に向け、より ICT を身近に感じることができるような取組を行っていきます。

【講習内容】

- 工事概要の紹介
- 起工測量について
- バックホウのペイロード機能（※）紹介と実演
- マシンコントロールシステムによる実演披露
- 完成部分の出来形測定実技

講師 蒲野建設株式会社

北村技術株式会社

日本キャタピラー合同会社

（※ペイロード機能・・・バケットに積載する材料の重さを自動計測する機能）



▲ 受講状況



▲ペイロード機能を用いた積込作業



▲ペイロード機能のモニタ画面確認



▲ マシンコントロールシステムによる実演

高校生との協働による橋梁点検を実施しました!!

～ 県民との協働による維持管理の推進 ～

道路環境課

県が管理する道路橋（約 2,800 橋）は、建設後 50 年以上経過する橋梁の割合が現在の約 3 割から 20 年後には約 7 割と大幅に上昇する見込みであり、**老朽化対策が大きな課題**となっています。

県では、老朽化した橋梁のメンテナンスを適切に行うため、道路法施行規則に基づき、**5年に1回の頻度で橋梁点検（近接目視点検）**を行っています。

令和元年度からは、道路インフラメンテナンスの必要性や重要性の理解向上と自ら実施した点検が県民の安全な暮らしを支える土木の魅力を感じてもらうことにより、**土木業界の担い手の確保・育成を推進**するため、**県内工業高校との協働による橋梁点検**に取り組んでいます。

今年度は、**11月25日に県立久慈工業高等学校**（建設環境科2年生・環境土木コース 8人）、**12月18日に県立盛岡工業高等学校**（土木科3年生・橋梁調査班7人）との協働による橋梁点検を実施しました。

久慈工業高校は、主要地方道一戸山形線蒲野橋や一般国道 281 号丹内橋等の**4橋**、**盛岡工業高校**は、一般県道矢巾西安庭線林平橋や主要地方道盛岡横手線黒沢川橋等**5橋**について、**岩手県道路橋定期点検要領**に基づき、**近接目視による橋梁点検**を行いました。

【11月25日：久慈工業高校との協働による橋梁点検】

<橋梁点検実施橋梁>

- ① **主要地方道一戸山形線蒲野橋**（久慈市山形町地内）、橋長：13.5m、完成年：昭和 37 年（1962 年）、構造形式：単純 RCT 桁橋
- ② **一般国道 281 号丹内橋**（久慈市山形町地内）、橋長：20.0m、完成年：平成 3 年（1991 年）、構造形式：プレテンション方式 PC 単純床版橋（中空）
- ③ **一般国道 281 号岩井橋**（久慈市大川目町地内）、橋長：24.4m、完成年：平成 8 年（1996 年）、構造形式：プレテンション方式 PC 単純 T 桁橋
- ④ **一般県道野田長内線広内橋**（九戸郡野田村野田地内）、橋長：28.5m、完成年：平成 24 年（2012 年）、構造形式：ポストテンション方式 PC 単純 T 桁橋



【12月18日：盛岡工業高校との協働による橋梁点検】

<橋梁点検実施橋梁>

- ① 一般県道矢巾西安庭線林平橋（岩手郡雫石町西安庭第49地割地内）、橋長：34.7m、幅員：9.2m、完成年：1992年（平成4年）、構造形式：単純合成鉄桁橋
- ② 一般県道矢巾西安庭線林平陸橋（岩手郡雫石町西安庭第48地割地内）、橋長：15.0m、幅員：9.2m、完成年：1992年（平成4年）、構造形式：プレテンション方式単純PC中空床版橋
- ③ 主要地方道盛岡横手線黒沢川橋（岩手郡雫石町黒沢川地内）、橋長：18.0m、幅員：8.8m、完成年：1956年（昭和31年）、構造形式：3径間連続RCT桁橋（車道部）、単純H形桁橋（歩道部）
- ④ 主要地方道盛岡横手線柵沢橋（岩手郡雫石町南畑第33地割地内）、橋長：55.0m、幅員：14.0m、完成年：1998年（平成10年）、構造形式：単純合成鉄桁橋2連
- ⑤ 一般県道矢巾西安庭線白根沢橋（紫波郡矢巾町煙山第1地割地内）、橋長：47.0m、幅員：9.2m、完成年：1990年（平成2年）、構造形式：単純合成鉄桁橋



橋梁点検を行った生徒達は、橋梁点検車に乗車してハンマーによる打音検査やクラックスケールを用いたひび割れ計測を行うなど、**熱心に橋梁の劣化状況等を点検**していました。今後、今回の点検結果等を踏まえて、各橋梁の**健全性診断**や**点検調書の作成**を行う予定としています。

県では、今後とも、**県民の生活を支える道路施設の良好な利用環境等を確保**するため、計画的な点検や修繕等の**適切な維持管理を推進**していきます。

岩手県自転車活用推進計画(素案)の パブリックコメントを実施しています！！

～ 自転車を活用した環境負荷低減、健康増進、観光振興等を促進 ～

道路環境課

自転車は、通学、通勤、買物等の身近な交通手段として、子どもから高齢者までの幅広い年齢層に利用されています。これらに加え、近年は、環境や健康への意識の高まりなどを背景に、コンパクトなまちづくりを支える環境に優しい移動手段として、また、サイクルーツリズムを通じた地域活性化等の面でも自転車の活用が進んできています。

このような中、自転車の活用による環境への負荷の低減、災害時における交通機能の維持、国民の健康増進等を図ることなどの重要な課題に対応するため、平成29年(2017年)5月1日に自転車活用推進法(以下「法」という。)が施行されました。

法第10条の規定では、都道府県は国の自転車活用推進計画を勘案して区域の実情に応じた都道府県版の自転車活用推進計画を定めるよう努めることとされています。

こうした国の動きを踏まえ、県では、自転車を活用した環境負荷の低減、健康増進、観光振興等を目的として、岩手県自転車活用推進計画の策定を進めており、本計画に県民の皆様様の御意見を反映するため、現在、パブリックコメントを実施中ですので、お知らせします。

■ 意見を募集する計画

岩手県自転車活用推進計画(素案)

■ 資料の閲覧場所及び入手方法

閲覧場所：県庁行政情報センター、各地区合同庁舎行政情報サブセンター、県庁県民室、
県立図書館

資料入手：県庁行政情報センター、各地区合同庁舎行政情報サブセンター

※ ホームページからも閲覧、入手可能です。

【岩手県自転車活用推進計画(素案)についての意見募集】

https://www.pref.iwate.jp/public_comment/1028686/1035130.html

■ 意見募集の期間と提出方法

- 募集期間 令和2年12月7日(月) ～ 令和3年1月6日(水) <必着>
- 提出方法
 - ・ 郵送(手紙、ハガキ)、ファクス、電子メールにより、下記のあて先にお送りください。
 - ・ 御意見には、「住所」「名前」を必ず御記入ください。
 - ・ 様式は自由ですが、「記入様式」を参考までに用意しておりますので、御活用ください。

■ 御意見等の提出先

- 郵送の場合 〒020-8570 岩手県県土整備部道路環境課
(郵便番号のみで届きますので、県庁の住所の記載は不要です)
- ファクスの場合 019-629-9124
- 電子メールの場合 E-mail アドレス：AG0004@pref.iwate.jp

※ 電話による御意見の受付は対応しかねますので、御了承願います。

『東日本大震災3.11 伝承ロードパネル展 in 岩手』を開催しています！

県土整備企画室

東日本大震災から節目の10年を迎えるにあたり、災害の事実や記憶、経験や教訓を忘れずに後世に伝承するため、東北地方整備局と岩手県内自治体が協力して、大震災の実情と得られた教訓の伝承や、その後の復興状況を紹介するパネル展を開催しています。

○ 3.11.伝承ロードとは

「3.11 伝承ロード」とは、東日本大震災の教訓を学ぶため、震災伝承施設のネットワークを活用して、防災に関する様々な取り組みや事業を行う活動です。その活動によって、これまでの防災に対する知識や意識を向上させるとともに、地域や国境を越えた多くの人々との交流を促し、災害に強い社会の形成と地域の活性化に繋げるものです。

○ 展示内容

～教訓がいのちを救う～

- ・震災遺構や伝承の取組などの紹介
- ・東日本大震災への対応や近年の日本における災害発生状況

○ 展示場所

開催市町村	開催施設	開催期間	問合せ先
盛岡市	イオンモール盛岡南 1階スターバックス横通路	令和2年11月20日（金）～30日（月）	※左記は、終了しました。
遠野市	遠野市役所 多目的ホール	令和2年12月7日（月）～14日（月）	
花巻市	銀河モール 西口スペース催事場	令和2年12月15日（火）～20日（日）	
奥州市	メイプル 2階催事場	令和2年12月21日（月）～27日（月）	
北上市	生涯学習センター おでんせプラザぐるーぶ3階	令和3年1月16日（土）～19日（火）	北上川ダム 統管理事務所
釜石市	イオンタウン釜石 2階通路	令和3年1月19日（火）～25日（月）	三陸国道事務所
一関市	イオン一関店 多目的ホール	令和3年1月20日（水）～24日（日）	岩手河川国道事務所
宮古市	宮古市役所 1階ロビー	令和3年1月25日（月）～27日（水）	南三陸国道事務所
盛岡市	岩手県庁 1階県民室	令和3年1月25日（月）～29日（金）	岩手県
久慈市	道の駅土風館 風の館1階 多目的ホール	令和3年1月30日（土）～2月5日（金）	三陸国道事務所
盛岡市	イオンモール盛岡 多目的ホール	令和3年2月1日（月）～10日（水）	岩手河川国道事務所

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、各会場の広さによって展示内容が異なります。

～問い合わせ～

国土交通省	岩手河川国道事務所	(TEL.019-624-3131)
東北地方整備局	三陸国道事務所	(TEL.0193-62-1711)
	南三陸国道事務所	(TEL.0193-28-4731)
	北上川ダム統管理事務所	(TEL.019-643-7831)
	盛岡営繕事務所	(TEL.019-651-2015)
	釜石港湾事務所	(TEL.0193-22-9111)

岩手県 岩手県 県土整備部 県土整備企画室 (TEL.019-629-5846)